

## 『理学療法学ゴールド・マスター・テキスト5 中枢神経系理学療法学』正誤表

『理学療法学ゴールド・マスター・テキスト5 中枢神経系理学療法学』(2010年1月10日 第1版第1刷～2016年9月10日 第1版第6刷)に誤りがありました。

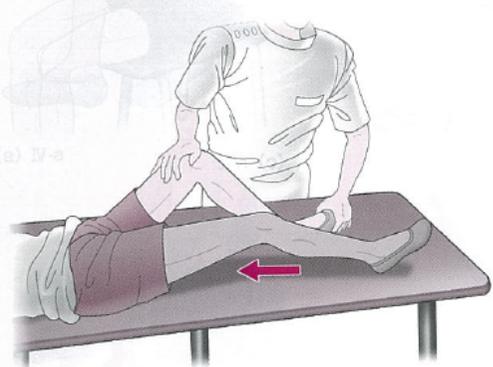
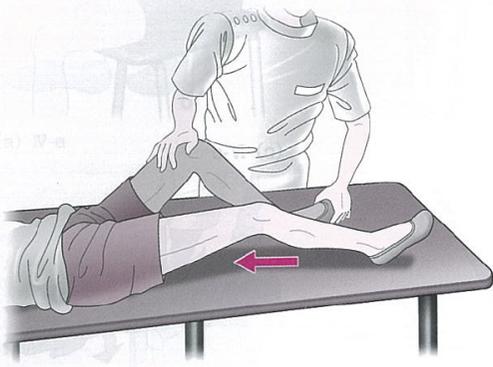
ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

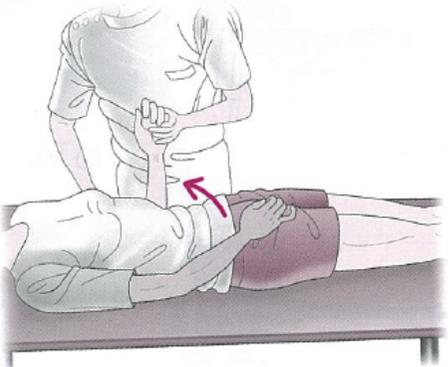
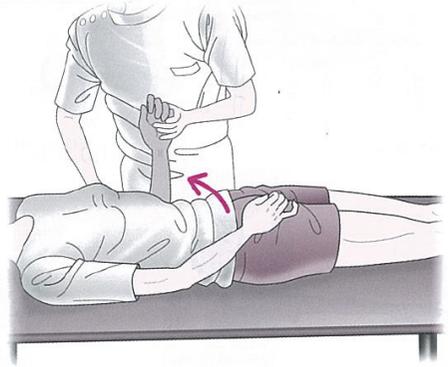
(2017年6月9日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
p.74	上から1行目, 5行目, 11行目, 図4タイトル	運動分解(ジスキネジア)	運動分解 赤字部分は削除
p.77	上から6行目		
p.78	下から10行目		
p.85	設問7の問題文		
p.113	図1②のタイトル, 下から12行目		
p.121	設問5の解答		

『理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト5 中枢神経系理学療法学』（2010年1月10日 第1版第1刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2014年1月27日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
p. 44	上から2行目	ずれが <u>足の指の長さ</u> 未満であるものを正常と…	ずれが <u>足部の長さ</u> 未満であるものを正常と…
”	図4 イラスト, および説明文	<p>図4 位置覚テスト(下肢)</p>  <p><u>非麻痺側(左)</u>の下肢を任意の角度に屈曲し、<u>麻痺側(右)</u>の下肢を同じ角度に曲げるように指示する。</p>	<p>図4 位置覚テスト(下肢)</p>  <p><u>麻痺側(左)</u>の下肢を任意の角度に屈曲し、<u>非麻痺側(右)</u>の下肢を同じ角度に曲げるように指示する。</p>

<p>” 図5 イラスト, および説明文</p>	<p>図5 位置覚テスト(上肢)</p>  <p>非麻痺側(左)の肘関節を任意の角度に屈曲し、<u>麻痺側(右)の肘</u>を同じ角度に曲げるように指示する。</p>	<p>図5 位置覚テスト(上肢)</p>  <p><u>麻痺側(左)の肘関節</u>を任意の角度に屈曲し、<u>非麻痺側(右)の肘</u>を同じ角度に曲げるように指示する。</p>
<p>p. 53 図2 イラスト (麻痺, 非麻痺)</p>	 <p>力が足りないときは肩を利用。</p> <p>骨盤の代償が入る場合は脚で押さえる。</p>	 <p>力が足りないときは肩を利用。</p> <p>骨盤の代償が入る場合は脚で押さえる。</p>

p. 57	図13 タイトル, およびイラスト	<p>図13 移乗</p> 	<p>図13 <u>プラットフォームから車椅子への移乗</u></p> 
p. 65	下から2行目	<p><u>非麻痺側</u>のブレーキはレバーを長く</p>	<p><u>麻痺側</u>のブレーキはレバーを長く</p>